

海のエネルギー利用に関する勉強会

第2回 勉強会開催のお知らせ

主催：一般社団法人 生態系工学研究会*

協力：JF兵庫県漁連

日時：2012年9月28日(金) 15:00~17:00

場所：明石浦漁業協同組合 会議室

兵庫県明石市岬町 33-1 電話:078-912-1771 (地図裏面参照)

参加費無料

第2回テーマ：波力発電、潮流発電の動向について(仮題)

話題提供：重松 孝昌 先生(大阪市立大学)

「(仮題) 港湾構造物を利用した波力発電」

山磨 敏夫 さん(ナカシマプロペラ株)

「(仮題) 九州沿岸域における潮流発電実験について」

【勉強会の趣旨】

海洋エネルギーの利用に関する社会的なニーズが高まる一方、発電効率、送電、蓄電などの技術的な課題に加え、採算性や用途など課題が山積しているといえます。これまで取り組まれてきた再生可能エネルギー利用のいくつかがうまく機能しない原因の一つが「電力を作り・供給する側の視点で事業が進められてきた」ことにあるのではないかと考えています。本勉強会では、以下の視座で情報交換・意見交換を重ね、実用化に向けた道筋を模索していきたくと考えております。

- ① エネルギーの利用について、サプライサイドからではなく、ユーザーサイドから考える。
 - ② 漁港や港湾内での利用、水産加工での利用などを想定する。
 - ③ 海のエネルギーを波浪・潮流・潮汐・温度差に加え、太陽光、洋上風力、海に流れ込む河川水まで幅広くとらえる。
 - ④ 瀬戸内海、特に明石海峡を要にした大阪湾、播磨灘など内湾を対象に検討を進める。
- 勉強会で想定する海のエネルギー利用のフレームを裏面に示しました。

第1回勉強会では、東京大学生産技術研究所の北澤大輔先生に「海洋エネルギー開発の動向」について講演いただきました。洋上風力発電、波力発電、波浪発電、海流発電等の技術を紹介いただくとともに、ヨーロッパでの海洋エネルギー試験サイト(EMEC)の概要、東北における同様な試験サイト設置に向けた動きなどについて話題を提供いただきました。その後、参加者による意見交換が行われ、地域の水産業活性化に資する、海洋エネルギー利用のあり方などが議論されました。

【勉強会に関する問い合わせ・申込先】

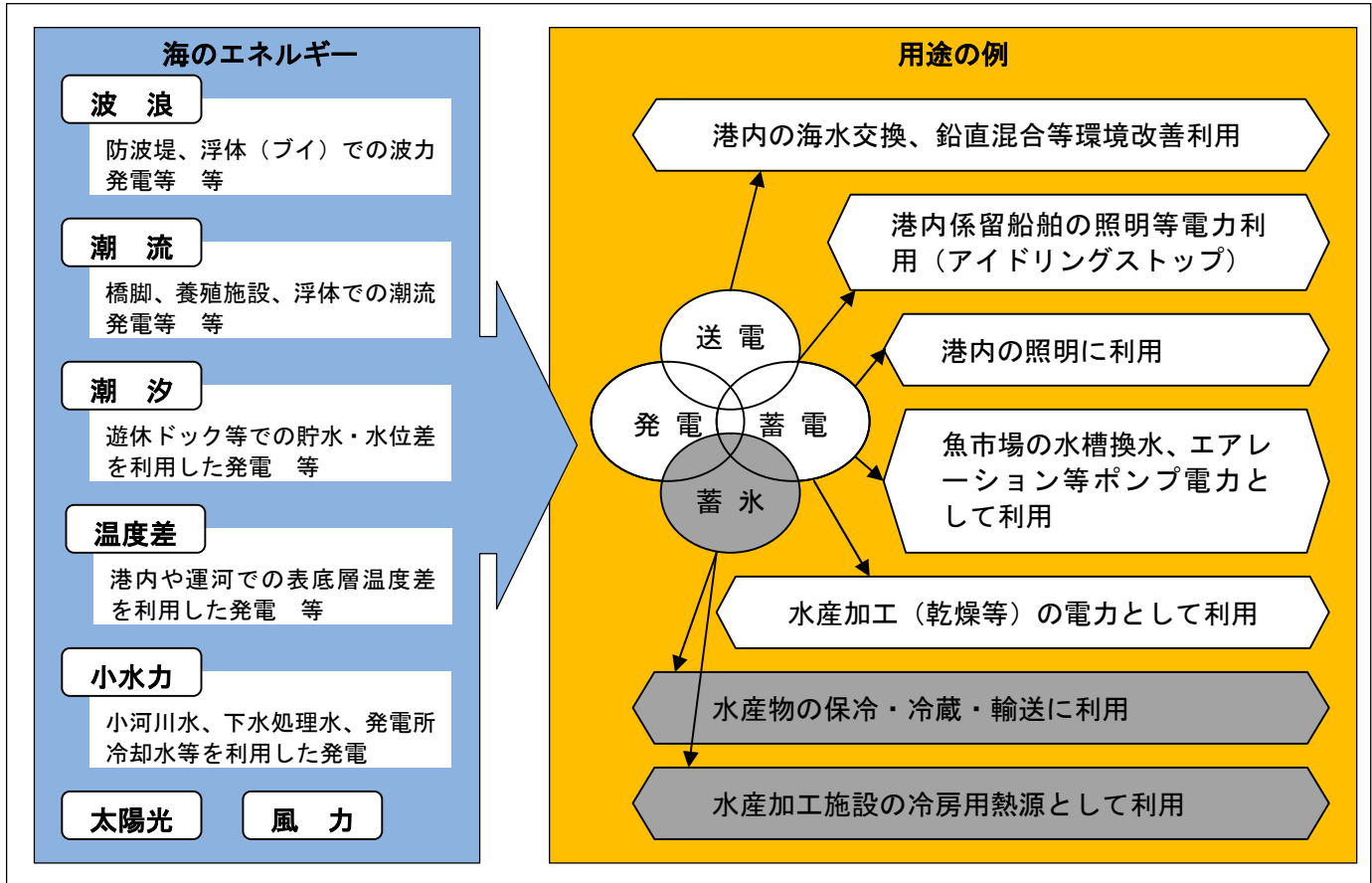
一般社団法人 生態系工学研究会 海のエネルギー利用検討WG 代表 中西 敬

E-mail naka24taka4@zeus.eonet.ne.jp 携帯：090-7100-5534

*：生態系工学研究会 (<http://races.jp/index.html> (一部作成中))

生態系工学研究会は、水域の生態系を保全・復元・創出するための活動を行い、その成果を社会に役立てることを目的に1987年に設立され、2011年に一般社団法人化されました。研究会では、(1)水域環境のコンサルティング、技術開発支援、政策立案支援、(2)シンポジウム・セミナーの開催、講師派遣、(3)環境教育支援、(4)若手研究者・技術者の育成、(5)調査研究活動、水域環境の情報共有等の事業を行っています。

本勉強会は同会に設置された研究ワーキングとして開催いたします。



海のエネルギー利用のフレーム（イメージ）



【第2回 勉強会会場案内図】